PRO CHEF

ＩＨ鉄板焼

取扱説明書

IH鉄板焼

型式 / DT-13SA、DT-13TA

もくじ

■安全上のご注意……1

■各部のなまえとその働き・付属品……5

■注意ラベルの貼付位置……8

■工事・設置……9

■運転前の確認……11

■ご使用方法……13

●運転の手順……14
●温度設定スイッチの設定温度記憶手順……14
●省エネ運転の働き……14

■お手入れ……15

●日常のお手入れ……16
●専用鉄板の取外し方法……16
●専用鉄板の取付け方法……17
●カス受けの取外し・取付け方法……17
●フィルターの取外し・取付け方法……18
●機器外面のお手入れ……18
●消耗品の紹介……18

■点検……19

●年に1～2回の点検……19
●電源プラグの点検……19
●保管方法……19

■譲渡・廃棄……20

■故障の見分け方と処置方法……21

■仕様……22

保証書・アフターサービスについて……巻末

●このたびは、プロシェフIH鉄板焼をお買い求めいただきましてまことにありがとうございました。
●この製品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。なお、正しくご使用されなかった場合は、保証対象外となります。
●お読みになったあとは必ずいつもお手元においてご使用ください。

CHUBU
株式会社 中部コーポレーション

■安全上のご注意

●ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使い下さい。
●ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守って下さい。
●表示と意味は次のようになっています。

⚠ **警告**	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が、想定される内容を示します。
⚠ **注意**	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が、想定される内容を示します。

＊物的損害とは、家屋・家財および家畜ペットにかかわる拡大損害を示します。

図記号の例

感電注意	△は注意(危険・警告を含む)を示します。 具体的な注意内容は、△の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「感電注意」を示します。
分解禁止	⃠ は、禁止(してはいけないこと)を示します。 具体意的な禁止内容は、⃠ の中や近くに絵や文字で示します。 左図の場合は「分解禁止」を示します。
アース工事	●は、強制(必ずすること)を示します。 具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「アース工事を必ず行うこと」を示します。

⚠ 警　告

●お手元に届いたら、すぐに運送上の損傷がないかチェックすること
もし損傷があれば販売会社へ損傷の状況を（梱包箱と共に）連絡してください。損傷のまま使用しますと、感電、火災、ケガの原因となります。

損傷確認

●修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理しないこと
異常動作してケガをしたり、修理に不備があると感電、火災などの原因になります。

分解禁止

●電源コードを傷つけたり、汚さないこと
加工したり、引張ったり、束ねたり、重いものを載せたり、挟み込んだり、また汚したりすると、電源コードが破損し、感電、火災の原因になります。

禁　止

⚠ 警 告

●吸気口、排気口をふさがないこと
ユニット等の温度が高くなり、ヤケドする恐れがあります。

禁　止

●湿気の多い所や、水のかかり易い場所に据え付けないこと
絶縁低下から漏電、感電の原因になります。

湿気禁止

●屋外で使用しないこと
雨水のかかる場所で使用すると、漏電・感電の原因になります。

屋外禁止

●異常時は運転を停止し、元電源を切って、すぐに最寄の販売店へ連絡すること
異常のまま運転を続けると、感電・火災の原因になります。

元電源 OFF

●本体に水をかけないこと
漏電・感電・火災の原因になります。

水かけ禁止

●子供など取扱に不慣れなかただけで使わせたり、幼児に触れさせたりしないこと
やけど・ケガ・感電の原因になります。

禁　止

●アース工事を必ず行うこと
アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。（電気工事業社による第３種設置工事が必要です）

アース工事

●電気配線工事は、電気工事の法的有資格者が行うこと
接続・固定が不完全な場合、漏電・火災の原因になります。

厳　守

●電源は三相２００Ｖを使用すること
異なる電源を使用すると機器が異常発熱し、機器の破損・火災の原因となる恐れがあります。

専用電源

●絶縁試験（メガーテスト）をしないこと
メガーテストを行うと、製品が焼損または破損します。

禁　止

●製品１台ごとに１個の漏電遮断器を設置すること
（推奨漏電遮断器定格電流：15A、感度電流 30mA）
この工事をしないと、異常時に配線が発熱し、火災の原因になります。

設置厳守

⚠ 警 告

●心臓用ペースメーカーをご使用の方が、本機をご使用される場合は、心臓用ペースメーカーの取扱説明書及び担当医師の指示に従うこと
本機の動作がペースメーカーに影響を与える恐れがあります。

医師と相談

●接地 3P20A 引掛けコンセントを設置すること
推奨ｺﾝｾﾝﾄ　松下電工製：WF2420 (埋込型)、WK2420 (露出型)
適正でないコンセントに接続すると、漏電・感電・火災の原因になります。

ｺﾝｾﾝﾄ側形状

設置厳守

●電源プラグは、専用コンセントに接続すること
電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用及びタコ足配線をした場合には、感電や発熱、火災の原因になります。

専用ｺﾝｾﾝﾄ

●濡れた手で電源プラグなど電気部品に触れたり、スイッチ類を操作しないこと
感電の原因になります。

濡手禁止

●電源プラグの刃及び刃の取付面にほこりが付着していないか定期的に確認し、ガタツキのないように刃の根元まで確実に差込むこと
ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は、感電・火災の原因になります。

点検清掃

●断熱プレートの上に、専用鉄板以外のものを置かないこと
断熱プレートの上に専用鉄板以外のものを置き、誤って加熱した場合、火災・爆発・ヤケドの原因になります。

禁　止

●専用鉄板の取扱に注意すること
専用鉄板は非常に重いですので、専用鉄板で身体を挟み込むと、骨折・切断など重傷となります。
持ち運びの際は、専用鉄板の下に身体を入れないようにするなど、取扱は慎重に行うこと。

取扱注意

●温度センサーは、確実に取付けられていること
専用鉄板の温度を正しく検知できないため、専用鉄板が異常発熱し、火災の原因になります。

取付確認

●運転中・運転後は、専用鉄板・スペーサー枠・化粧枠に触れないこと
運転中・運転後は高温になっていますので、触れるとヤケドの原因になります。清掃などによりやむを得ず触れる場合は、冷めた事を十分ご確認ください。

接触禁止

⚠ 注 意

●丈夫で平らな所に水平になるように据え付けること
据え付けに不備があると転倒・落下によるケガなどの原因になることがあります。

●本機に水がかかる恐れがある所には設置しないこと
電気部品に水がかかり、火災・漏電・感電の原因になることがあります。

●吸気フィルターに目詰まりがないこと
ヤケドをしたり、電気部品を損傷する原因になることがあります。

●吸気フィルターが取付けられていること
ユニット内にほこりなどがたまり、漏電・火災の原因になります。

●専用鉄板に衝撃を与えないこと
変形・破損の原因になります。

●1日の営業が終了したら、安全のため運転を停止し、電源プラグを抜くか、元電源を切ること
電源プラグやコンセント部にほこりが溜まって発熱、発火の原因になることがあります。

●電源プラグを抜くときは、電源コードを持って抜かないこと
必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引張るとコードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。

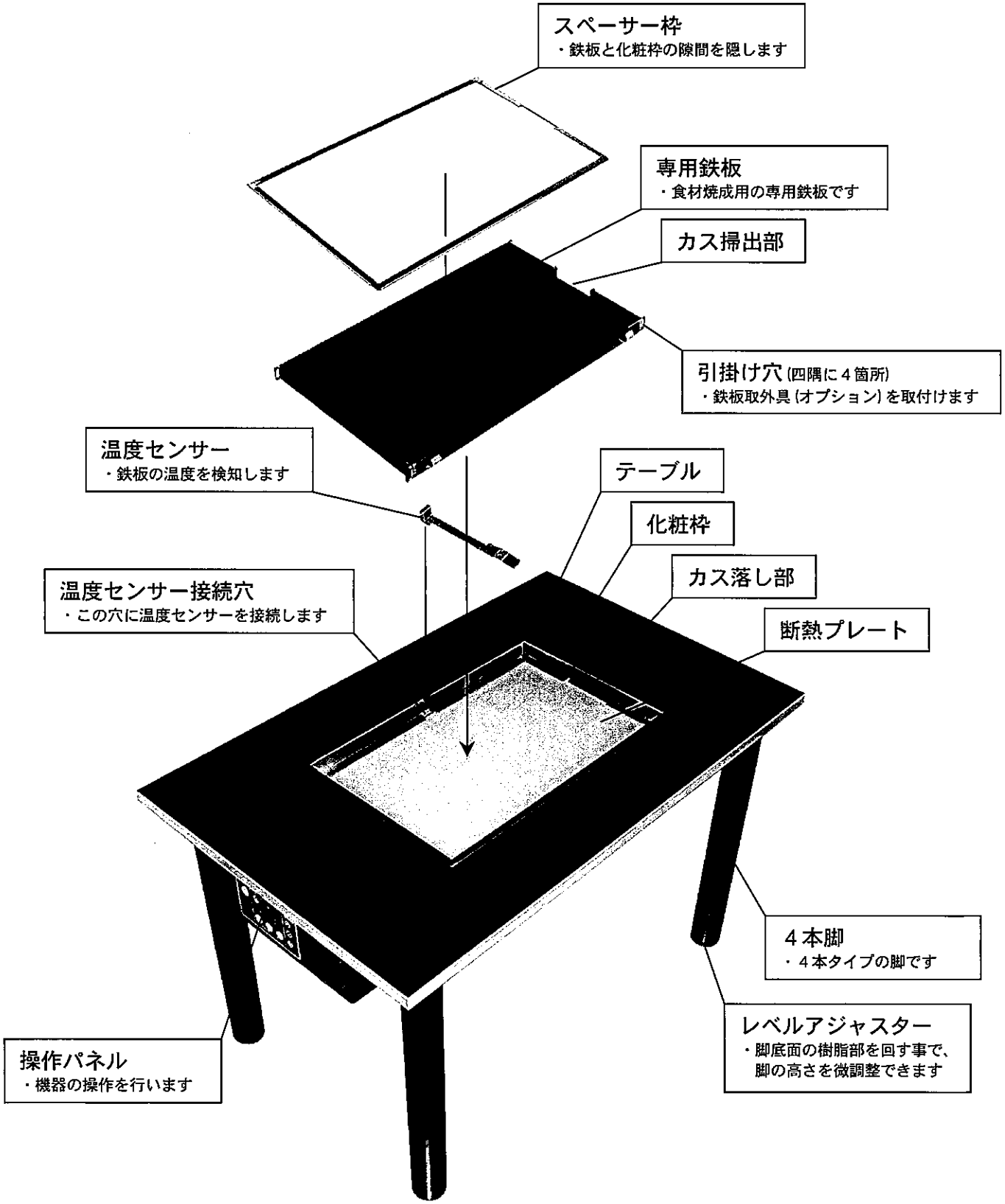
●このお使いになっている製品を他に売ったり、譲渡されるときは、新しく所有者となる方が安全な正しい使い方を知るために、この取扱説明書を製品の目立つ所にテープ止めすること

●廃棄は専門の業者か、最寄の販売会社に依頼すること
放置しますとケガの原因になることがあります。

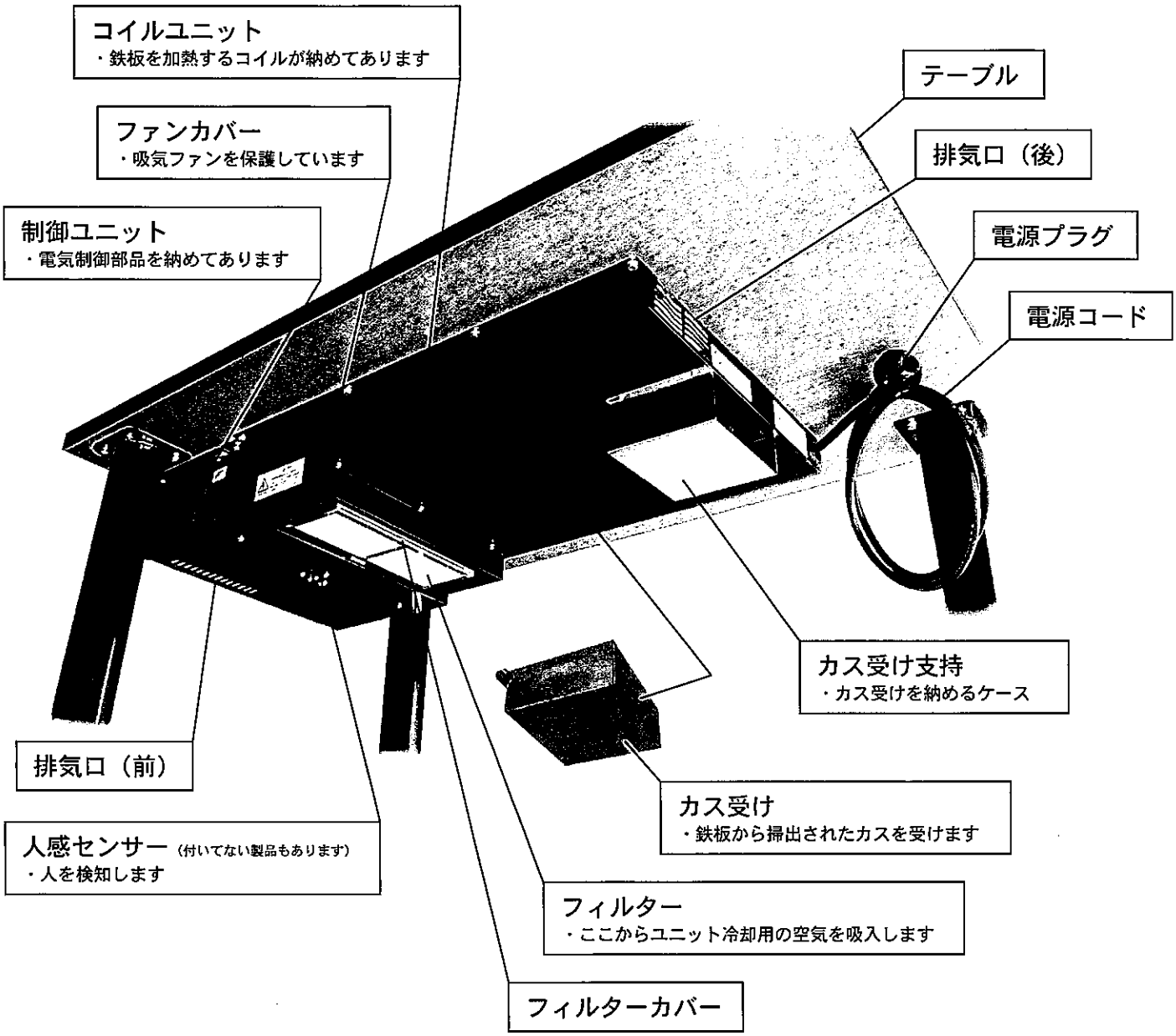
●鉄板焼による調理以外の目的で使用しないこと
火災の原因になることがあります。

■各部のなまえとその働き

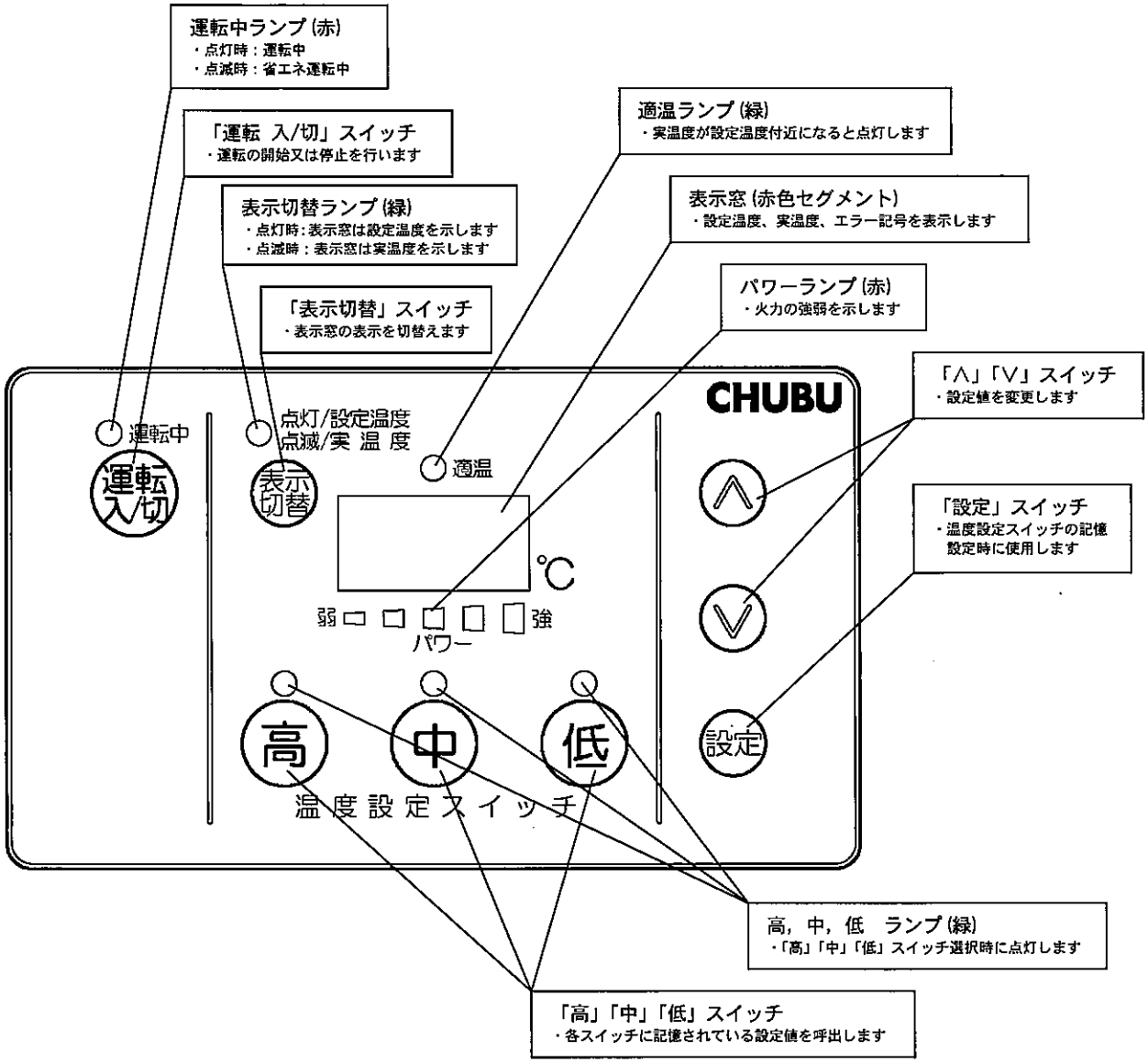
■本体（上面）



■本体（下面）

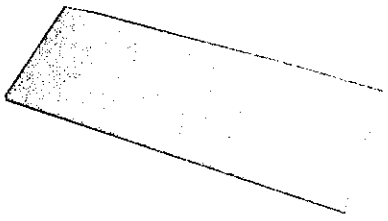

コイルユニット
・鉄板を加熱するコイルが納めてあります
ファンカバー
・吸気ファンを保護しています
制御ユニット
・電気制御部品を納めてあります
テーブル
排気口（後）
電源プラグ
電源コード
カス受け支持
・カス受けを納めるケース
排気口（前）
カス受け
・鉄板から掃出されたカスを受けます
人感センサー（付いてない製品もあります）
・人を検知します
フィルター
・ここからユニット冷却用の空気を吸入します
フィルターカバー

■操作パネル



■付属品

取扱説明書（本書）



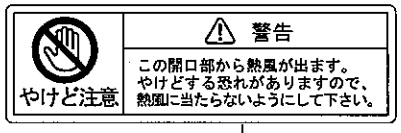
フィルター（予備用１枚）

■注意ラベルの貼付位置

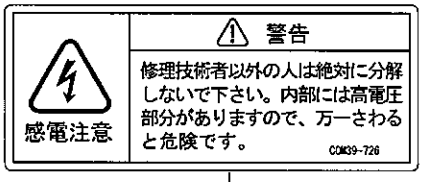
お願い！

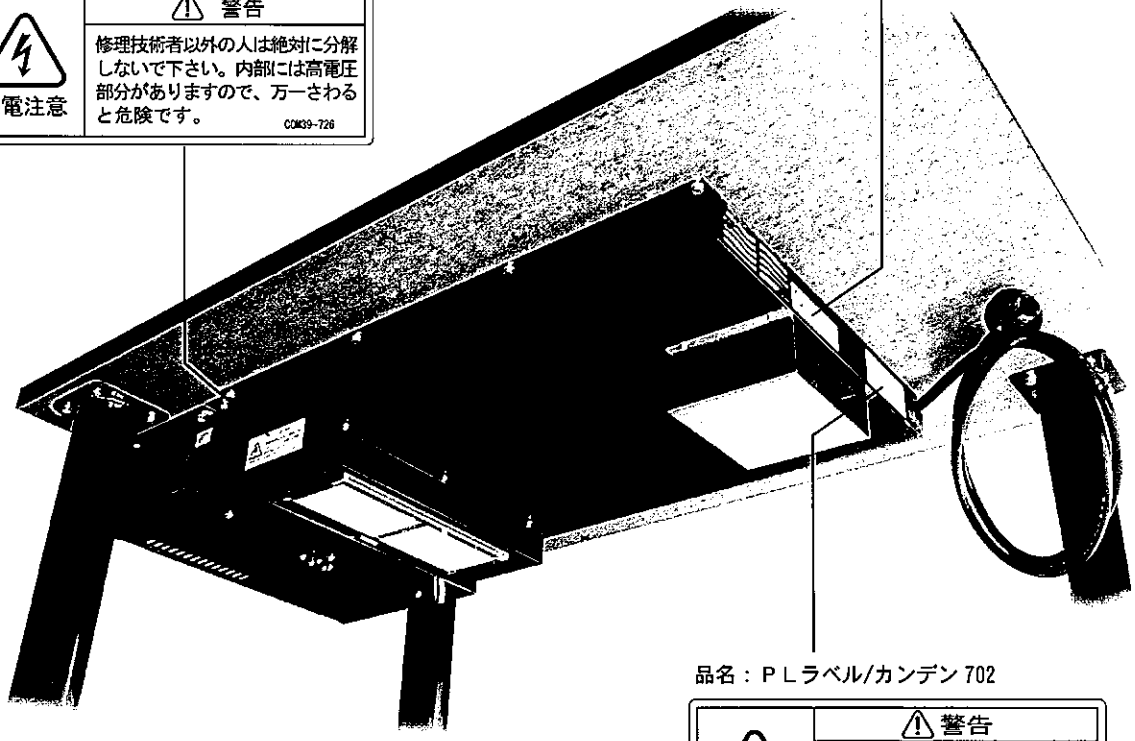
●ラベルを剥がさないでください。
●ラベルが剥がれたり、文字が消えたりした場合は、販売会社より購入し、張り替えてください。
ご注文のときは、ラベルの品名をご指示ください。

品名：やけど注意 DT13SA097

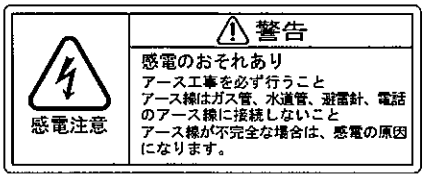


品名：ＰＬラベル/カンデン 726





品名：ＰＬラベル/カンデン 702



■工事・設置

⚠ 警　告

●電気配線工事は、電気工事の法的有資格者が行うこと

接続・固定が不完全な場合、漏電・火災の原因になります。

●アース工事を必ず行うこと

アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。（電気工事業社による第３種設置工事が必要です）

●電源は三相２００Ｖを使用すること

異なる電源を使用すると機器が異常発熱し、機器の破損・火災の原因となる恐れがあります。

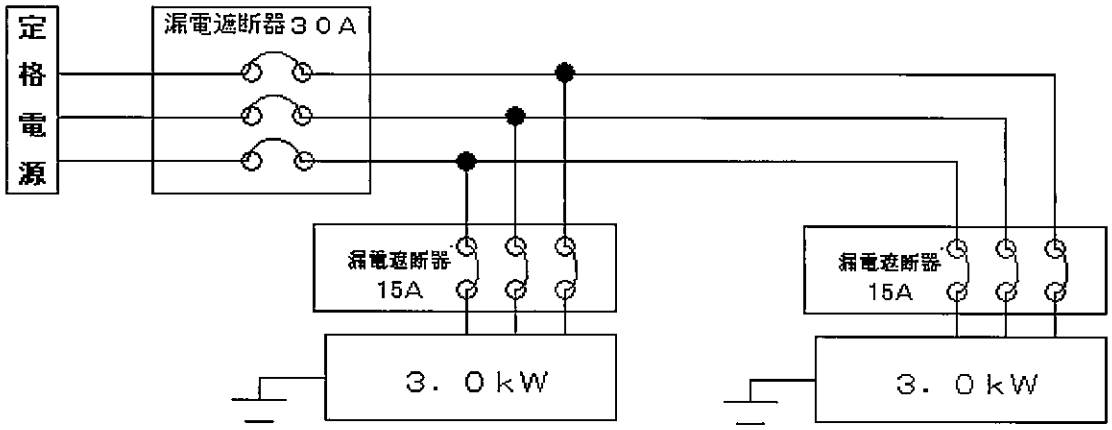
●絶縁試験（メガーテスト）をしないこと

メガーテストを行うと、製品が焼損または破損します。

●製品１台ごとに１個の漏電遮断器を設置すること
（推奨漏電遮断器定格電流：15A、感度電流 30mA）

この工事をししないと、異常時に配線が発熱し、火災の原因になります。
定格 15A 以上の漏電遮断器を以下の結線図のように設置してください。

２台設置の場合の結線例



⚠ 警　告

●接地 3P20A 引掛けコンセントを設置すること
推奨ｺﾝｾﾝﾄ　松下電工製：WF2420 (埋込型)、WK2420 (露出型)
適正でないコンセントに接続すると、漏電・火災の原因になります。

ｺﾝｾﾝﾄ側形状

厳　守

●電源コードを傷つけたり、汚さないこと
加工したり、引張ったり、束ねたり、重いものを載せたり、挟み込んだり、また汚したりすると、電源コードが破損し、感電、火災の原因になります。

禁　止

●湿気の多い所や、水のかかり易い場所に据え付けないこと
絶縁低下から漏電、感電の原因になります。

湿気禁止

●屋外で使用しないこと
雨水のかかる場所で使用すると、漏電・感電の原因になります。

屋外禁止

●吸気口、排気口をふさがないこと
ユニット等の温度が高くなり、ヤケドする恐れがあります。

禁　止

⚠ 注　意

●丈夫で平らな所に水平になるように据え付けること
据え付けに不備があると転倒・落下によるケガなどの原因になることがあります。

水平設置

●本機に水がかかる恐れがある所には設置しないこと
電気部品に水がかかり、火災・漏電・感電の原因になることがあります。

禁　止

■運転前の確認

⚠ 警　告

●断熱プレートの上に、専用鉄板以外のものを置かないこと

断熱プレートの上に専用鉄板以外のものを置き、誤って加熱した場合、火災・爆発・ヤケドの原因になります。

●専用鉄板の取扱に注意すること

専用鉄板は非常に重いですので、専用鉄板で身体を挟み込むと、骨折・切断など重傷となります。
持ち運びの際は、専用鉄板の下に身体を入れないようにするなど、取扱は慎重に行うこと。

●温度センサーは、確実に取付けられていること

専用鉄板の温度を正しく検知できないため、専用鉄板が異常発熱し、火災の原因になります。

●電源プラグは、専用コンセントに接続すること

電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用及びタコ足配線をした場合には、感電や発熱、火災の原因になります。

⚠ 注　意

●専用鉄板に衝撃を与えないこと

変形・破損の原因になります。

●吸気フィルターが取付けられていること

ユニット内にほこりなどがたまり、漏電・火災の原因になります。

■運転前の確認

1．吸気口、排気口がふさがれていないか確認する。

2．吸気フィルターを確認する。

●吸気フィルターに目詰まりがないか確認する。

●吸気フィルターが取付けられているか確認する。

※フィルターの取外し・取付け方法参照（18 ページ）

3．テーブルのガタツキを無くす。

●脚の底に取付けられているレベルアジャスターを調節し、テーブルを水平にし、ガタツキを無くす。

4．専用鉄板まわりを確認する。

●専用鉄板まわりが汚れていれば、清掃してください。

●温度センサー・専用鉄板・スペーサー枠が確実に取付けられているか確認ください。

※専用鉄板の取外し・取付け方法参照（16, 17 ページ）

5．カス受けまわりを確認する。

●カス受けまわりが汚れていれば、清掃してください。

※カス受けの取外し・取付け方法参照（17 ページ）

6．電源の投入

●専用コンセントへ電源プラグを接続します。

●電源プラグは、専用コンセントへ挿入し、右に回転させると抜け防止となります。

●漏電遮断器を ON にします。

お願い

● 初めてお使いになる時は、保管時にホコリ・ゴミなどが付着している恐れがありますので、専用鉄板を清掃してください。また、鉄板特有の匂いを消し、油のなじみをよくするため、野菜クズを使って空焚きをしてください。

■ご使用方法

⚠ 警　告

●異常時は運転を停止し、元電源を切って、すぐに最寄の販売店へ連絡すること
異常のまま運転を続けると、感電・火災の原因になります。

元電源 OFF

●運転中・運転後は、専用鉄板・スペーサー枠・化粧枠に触れないこと
運転中・運転後は高温になっていますので、触れるとヤケドの原因になります。清掃などによりむを得ず触れる場合は、冷めた事を十分ご確認ください。

接触禁止

●本体に水をかけないこと
漏電・感電・火災の原因になります。

水かけ禁止

●子供など取扱に不慣れなかただけで使わせたり、幼児に触れさせたりしないこと
やけど・ケガ・感電の原因になります。

禁　止

●濡れた手で電源プラグなど電気部品に触れたり、スイッチ類を操作しないこと
感電の原因になります。

濡手禁止

●心臓用ペースメーカーをご使用の方が、本機をご使用される場合は、心臓用ペースメーカーの取扱説明書及び担当医師の指示に従うこと
本機の動作がペースメーカーに影響を与える恐れがあります。

医師と相談

⚠ 注　意

●鉄板焼による調理以外の目的で使用しないこと
火災の原因になります。

禁　止

●1日の営業が終了したら、安全のため運転を停止し、電源プラグを抜くか、元電源を切ること
電源プラグやコンセント部にほこりが溜まって発熱、発火の原因になることがあります。

元電源 OFF

■運転の手順

1．希望の鉄板温度を設定する。

●操作パネルの温度設定スイッチ（「大」「中」「小」スイッチ）を押すと、スイッチに記憶された温度を設定できます。

→表示窓に、設定温度が表示されます。

→選択した「大」「中」「小」スイッチのランプ（緑）が点灯します。

●「∧」又は「∨」スイッチを押すと、１℃単位にて温度を設定できます。

→表示窓に、設定温度が表示されます。（設定可能温度 50～250℃）

2．運転を開始する。

●「運転 入/切」スイッチを押すと、運転を開始します。

→運転中ランプ（赤）が点灯します。

●「表示切替」スイッチを押すと、表示窓の表示の実温度と設定温度の切替えが可能です。

→表示窓が設定温度を表示している場合は、表示切替ランプ（緑）が点灯します。

→表示窓が実温度を表示している場合は、表示切替ランプ（緑）が点滅します。

●運転中でも設定温度の変更が可能です。

→設定温度を変更すると、表示窓が実温度を表示している場合は、設定温度の表示に切替ります。

3．適温になったら、食材を投入します。

●鉄板温度が、設定温度付近まで到達したら食材を投入し調理します。

→適温ランプ（緑）が点灯します。

4．運転を停止します。

●運転中に「運転 入/切」スイッチを押すと、運転を停止します。

→運転中ランプ（赤）が消灯します。

5．１日の営業終了時など、しばらく使用しない場合は、運転を停止後、電源プラグを抜くか元電源を切ります。

●電源プラグは、左に回し、手前に引けば抜くことが出来ます。

■温度設定スイッチの設定温度記憶手順

1．記憶させたいスイッチを選択します。

●表示窓の表示が点滅するまで、「設定」スイッチを押したまま、記憶させたいスイッチ（「大」「中」「小」いずれかのスイッチ）を長押しします。

2．記憶させたい温度を変更します。

●「∧」又は「∨」スイッチを押すと、１℃単位にて温度を変更できます。

→設定可能温度 50～250℃

3．変更した温度を記憶させます。

●「設定」スイッチを押すと、記憶します。

→表示窓は、記憶した温度を表示します。

■省エネ運転の働き（省エネ運転機能が無い機種もあります）

1．一定時間、人を検知しないと省エネ運転になります。

→運転中ランプ（赤）が点滅します。

※「表示切替」スイッチを２秒間長押ししても、省エネ運転にする事ができます。

2．人を検知すると、通常運転に復帰します。

●現在設定されている温度にて、通常運転を開始します。

→運転中ランプ（赤）が点灯します。

※省エネ運転中「表示切替」スイッチを２秒間長押ししても、省エネ運転を解除し、通常運転にする事ができます。

■お手入れ

⚠ 警　告

●専用鉄板の取扱に注意すること
専用鉄板は非常に重いですので、専用鉄板で身体を挟み込むと、骨折・切断など重傷となります。
持ち運びの際は、専用鉄板の下に身体を入れないようにするなど、取扱は慎重に行うこと。

取扱注意

●運転中・運転後は、専用鉄板・スペーサー枠・化粧枠に触れないこと
運転中・運転後は高温になっていますので、触れるとヤケドの原因になります。清掃などによりむを得ず触れる場合は、冷めた事を十分ご確認ください。

接触禁止

●本体に水をかけないこと
● 漏電・感電・火災の原因になります。

水かけ禁止

●濡れた手で電源プラグなど電気部品に触れたり、スイッチ類を操作しないこと
感電の原因になります。

濡手禁止

●断熱プレートの上に、専用鉄板以外のものを置かないこと
断熱プレートの上に、専用鉄板以外のものを置き、誤って加熱した場合、火災・爆発・ヤケドの原因になります。

禁　止

●温度センサーは、確実に取付けられていること
専用鉄板の温度を正しく検知できないため、専用鉄板が異常発熱し、火災の原因になります。

取付確認

⚠ 注　意

●専用鉄板に衝撃を与えないこと
変形・破損の原因になります。

禁　止

●電源プラグを抜くときは、電源コードを持って抜かないこと
必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引張るとコードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。

禁　止

●吸気フィルターに目詰まりがないこと
ヤケドをしたり、電気部品を損傷する原因になることがあります。

目詰注意

●吸気フィルターが取付けられていること
ユニット内にほこりなどがたまり、漏電・火災の原因になります。

取付厳守

■日常のお手入れ

1．鉄板の清掃

●鉄板の汚れは、濡れた布で拭き取るか、へらで削り取ってください。
●鉄板まわりが汚れていれば、鉄板を取外して清掃ください。
※鉄板取外し・取付け方法参照（16, 17 ページ）

2．カス受けの清掃

●カス受けを取外し、カス受けにカスが溜まっていれば、取除いてください。
※カス受けの取外し・取付け方法参照（17 ページ）

3．カス受け支持の清掃

●カス受け支持が汚れていれば、清掃してください。

4．フィルターの清掃

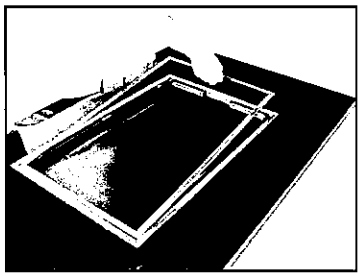
●フィルターが汚れていれば、清掃してください。
※フィルターの取外し・取付け方法参照（18 ページ）
●汚れがひどい場合は、中性洗剤で漬け置き洗いをし、自然乾燥させてください。

注意！ フィルターが湿った状態で取付けないでください。

■専用鉄板の取外し方法

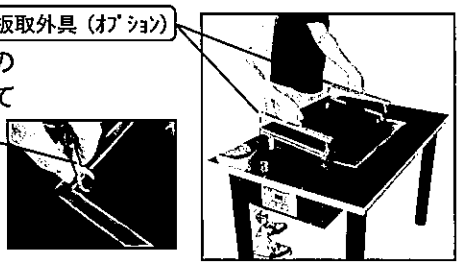
1．スペーサー枠を取外す

●専用鉄板・スペーサー枠・化粧枠が十分冷めている
ことをご確認の上、スペーサー枠を取外します。



2．専用鉄板を取外す

●鉄板取外具（オプション）のフックを、専用鉄板の
四隅の取付穴に確実に引掛け、専用鉄板を持上げて
取外します。

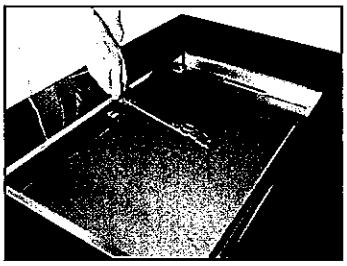


注意！

・専用鉄板は非常に重いので、２人で作業することをお勧めします。
・専用鉄板で身体を挟み込むと重大な事故となる恐れがあります。専用鉄板の下に身体を
入れないよう、十分ご注意ください。

3．温度センサーを取外す

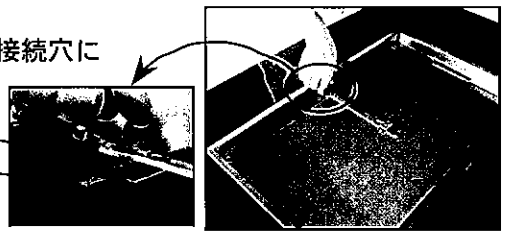
●温度センサーのコネクタ部を指でつまみ、上部へ
引き抜きます。



■専用鉄板の取付け方法

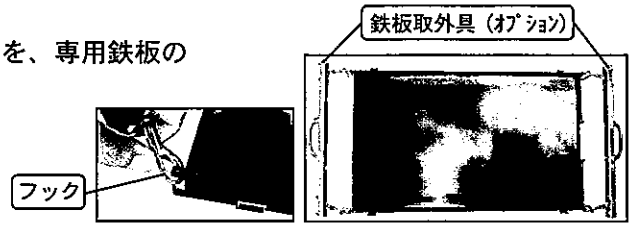
1．温度センサーの取付け

●コネクタ先端が、テーブル側の温度センサー接続穴に入るように、慎重に奥まで差込みます。

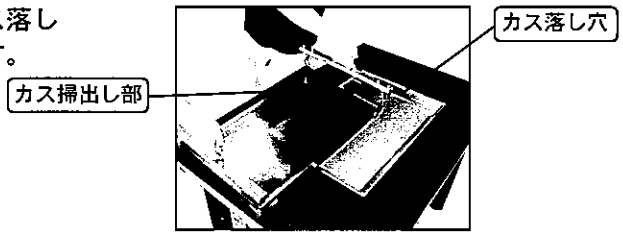


2．専用鉄板の取付け

●鉄板取外具（オプション）のフックを、専用鉄板の四隅の取付穴に確実に引掛けます。



●専用鉄板のカス掃出し部を、テーブルのカス落し穴側にし、テーブルに専用鉄板を取付けます。



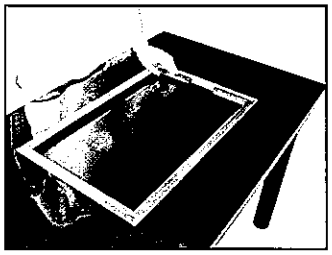
注意！

・専用鉄板は非常に重いので、２人で作業することをお勧めします。
・専用鉄板で身体を挟み込むと重大な事故となる恐れがあります。専用鉄板の下に身体を入れないよう、十分ご注意ください。

3．スペーサー枠の取付け

●専用鉄板と化粧枠の隙間にスペーサー枠をはめ込みます。

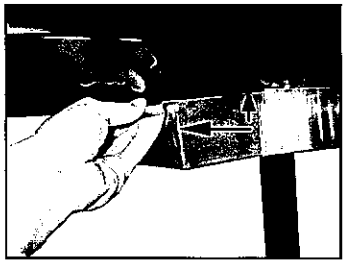
注意！ スペーサー枠を無理にはめ込むと折れ曲がりますので、ご注意ください。



■カス受けの取外し・取付け方法

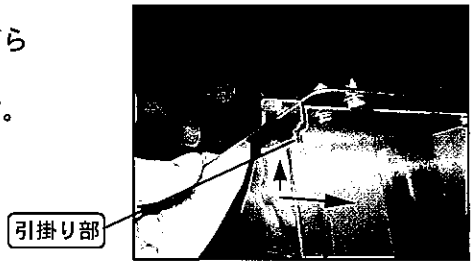
1．カス受けの取外し

●取手部を上に持上げて手前に引くと外れます。



2．カス受けの取付け

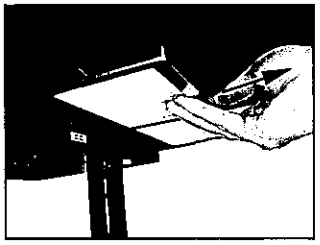
●カス受け支持部へ挿入し、取手部を少し持上げながら奥へ押し込みます。
→取手部の両側がカス受け支持の両側に引掛ります。



■フィルターの取外し・取付け方法

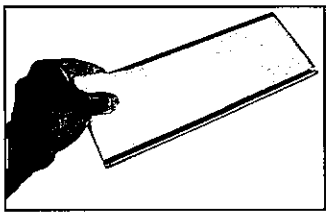
1．フィルターカバーの取外し

●フィルターカバーを手前に引くと外れます。



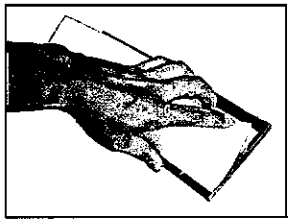
2．フィルターの取外し

●フィルターカバーに挟みこんであるフィルターを取外します。



3．フィルターの取付け

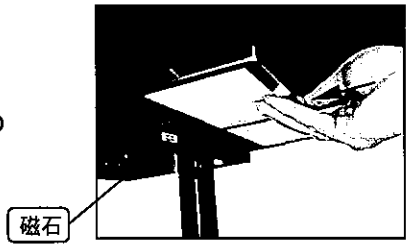
●フィルターをフィルターカバーに挟み込みます。



4．フィルターカバーの取付け

●フィルターを挟み込んだ面を上（テーブル側）にし、フィルターカバーを取付けます。

→奥まで差込むと、フィルターカバーがテーブル側の磁石に吸着し固定されます。



■機器外面のお手入れ

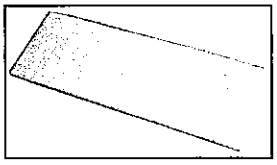
●乾いた軟らかい布で拭いてください。

●落ち難い汚れは、ぬるま湯か中性洗剤をしみこませた布で拭いてください。その後、洗剤分が残らないように水拭きしてください。

■消耗品の紹介

●フィルター

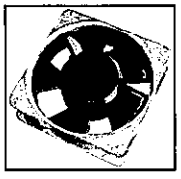
・フィルターの目詰まりが取れなくなったら、販売会社より購入し、取替えてください。



●吸気ファン

・３年に１回を目安として新しいものと交換してください。

・交換作業は、作業専門者が行う必要がありますので、販売会社にご依頼ください。



■点検

■年に１～２回の点検

⚠ 警　告

●電源プラグの刃及び刃の取付面にほこりが付着していないか定期的に確認し、ガタツキのないように刃の根元まで確実に差込むこと

ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は、感電・火災の原因になります。

点検清掃

●電源コードを傷つけたり、汚さないこと

加工したり、引張ったり、束ねたり、重いものを載せたり、挟み込んだり、また汚したりすると、電源コードが破損し、感電、火災の原因になります。

禁　止

■電源プラグの点検

●電源プラグの刃の取付け面及びコンセントにホコリが溜まっていませんか。

・ホコリがついている場合は、ホコリを取除いてください。

●電源コードがキズ付いたり、束ねたり、重いものを載せたり、挟み込んだり、汚れていませんか。

・異常がある場合は、販売会社または電気店にご相談ください。

■保管方法

●電源プラグを抜き、直射日光を避け、湿気の無いところに保管ください。

■譲渡・廃棄

■譲渡

⚠ 注 意

●このお使いになっている製品を他に売ったり、譲渡されるときは、新しく所有者となる方が安全な正しい使い方を知るために、この取扱説明書を製品本体の目立つ所にテープ止めすること

テープ止め

■廃棄

⚠ 注 意

●廃棄は専門の業者か、最寄の販売会社に依頼すること
放置しますとケガの原因になります。

専門業者

■故障の見分け方と処置方法

⚠ 警　告

●修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理しないこと

異常動作してケガをしたり、修理に不備があると感電、火災などの原因になります。

分解禁止

お願い！ 故障かな？と思ったら、次の事をお調べください。それでも具合の悪いときは、販売会社または最寄の当社営業所へご連絡ください。

症状	原因	処置方法
表示窓に何も表示されていない	●電源プラグが外れている。	●コンセントに電源プラグを接続してください。
	●漏電遮断器が OFF になっている。	●漏電遮断器を ON にしてください。
表示窓に、ＯＨと表示され運転を停止している	●吸気口からの吸気に不具合があり、制御ユニット内の冷却ができていない。	●吸気ができるよう、吸気口を確保してください。 ●フィルターを清掃してください。 ●運転入/切スイッチを押すとエラーを解除します。
	●排気口（前）が塞がれており、制御ユニット内　の冷却ができていない。	●排気口（前）を確保してください。 ●運転入/切スイッチを押すとエラーを解除します。
表示窓に、ＣＨと表示され運転を停止している	●吸気口からの吸気に不具合があり、コイルユニット内の冷却ができていない。	●吸気ができるよう、吸気口を確保してください。 ●フィルターを清掃してください。 ●運転入/切スイッチを押すとエラーを解除します。
	●排気口（後）が塞がれており、コイルユニット内の冷却ができていない。	●排気口（後）を確保してください。 ●運転入/切スイッチを押すとエラーを解除します。
表示窓に、ＬＵと表示され運転を停止している	●機器に必要な電圧が低い。	●正しい電源を使用してください。
	●瞬時停電が発生しました。	●運転入/切スイッチを押すとエラーを解除します。
表示窓に、ＯＳと表示され運転を停止している	●温度センサーが外れています。	●温度センサーを正しく取付けてください。 ●運転入/切スイッチを押すとエラーを解除します。
表示窓に、ｎＰと表示され運転を停止している	●専用鉄板が外れている又は、専用鉄板を使用していません。	●専用鉄板を正しく取付けてください。 ●運転入/切スイッチを押すとエラーを解除します。
表示窓に、ＳＬと表示され運転を停止している	●鉄板温度が設定温度付近になるまでに時間がかかりすぎています。	●運転中は適温ランプが点灯するまで、食材を投入しないでください。 ●運転入/切スイッチを押すとエラーを解除します。
表示窓に、Er1 と表示され運転を停止している	●制御ユニット内のＣＰＵメモリーに異常が発生しました。	●コンセントを抜く又は、漏電遮断器をＯＦＦにし、再度コンセントを入れる又は、漏電遮断器をＯＮにして、電源を再投入してください。
表示窓に、Er2 と表示され運転を停止している	●制御ユニット内のＣＰＵに異常が発生しました。	
機器の金属部分に触れるとピリピリと不快な感触がある	●専用コンセントに、アースが接続されていません。	●有資格者によるアース工事を行ってください。
省エネ運転にならない（省エネ運転機能がない機種があります）	●人感センサーが人や動物など、赤外線を放出している物に反応しています。	●テーブル下まわりにある、センサーに検知しそうなものを取除いてください。
	●人感センサーが、障害物などによりさえぎられています。	●障害物を除去してください。
鉄板からチリチリと音がする	●温度制御の為、火力を絞って運転している時に、チリチリと音がしますが、故障ではありません。	――――

■仕様

品名	ＩＨ鉄板焼	
型式	DT-13SA	DT-13TA
省エネ運転機能	無し	有り
電源	３相２００Ｖ　５０/６０Ｈｚ	
定格消費電力	３ｋｗ	
質量（重量）	５０ｋｇ	
外形寸法（幅×奥行×高さ mm）	７５０×１２００×７００	
鉄板寸法（幅×奥行×厚み mm）	３６０×６００×９	
付属品	取扱説明書、予備用フィルター	